

平成30年度予算見積調書

課室名：道路政策課

担当名：政策担当

内線：5018

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B107	カーナビデータ活用の新たな取組事業費			一般会計	土木費	道路橋りょう費	道路橋りょう総務費	道路網構想推進費	
事業期間	平成26年度～平成34年度	根拠法令	なし			宣言項目			
						分野施策	020411 交通安全対策の推進		
1 事業の概要 埼玉県は本田技研工業㈱との協定によるカーナビデータから得られる急ブレーキ箇所の実施することにより、急ブレーキ発生回数の減少や人身事故件数の減少など、交通安全対策として大きな効果を発揮している。 現在も本田技研工業㈱と連携し、交通安全対策に取り組んではいるが、埼玉県の交通事故による死者数は全国ワースト7位（平成28年）であり、依然厳しい状況にあることから継続した交通安全対策に取り組む必要がある。 また、ビッグデータとしてカーナビデータの更なる活用方法を調査し、検討する。 道路整備事業箇所の抽出・検討 5,801千円				5 事業説明 (1) 事業内容 効率的かつ効果的な交通安全対策を実施するため、民間企業が安全マップとして公開しているデータを活用する。具体的には、カーナビデータから得られる「急ブレーキデータ」・交通事故の多発地点を示す「事故データ」を用いて危険箇所を抽出し、道路状況についての県民からの「書き込みデータ」も参考に安全対策を実施する。また、ビッグデータとして道路整備におけるカーナビデータの新たな活用方法について調査し、検討する。 ①安全マップによる危険箇所の抽出 ②最新のカーナビデータによる抽出箇所の急ブレーキ発生回数、発生率の整理 ③安全対策実施箇所の選定、次期年次別実施計画（H31～H33）の策定、計画にもとづく安全対策の実施 ④カーナビデータの有効活用の調査、検討 (2) 事業計画 平成26年度～30年度 計画にもとづく安全対策の実施【道路安全施設費にて実施】 平成30年度 次期年次別計画の策定、有効活用の調査、検討 平成31年度～33年度 次期計画にもとづく安全対策の実施【道路安全施設費にて実施】 平成31年度 カーナビデータによる平成26年度～30年度対策箇所の効果検証 平成32年度 効果検証結果を基にしたビッグデータを活用する新たな道路施策の検討 平成33年度 新たな道路施策のモデルケース検証 平成34年度 新たな対策計画の実施 (3) 事業効果 安心して快適に走行できる道路空間の創出 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 ・公開データの有効活用方をHondaと研究					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 (1) 事業に係る人件費 9,500千円×2人=19,000千円 (2) 組織の新設、改廃及び増員 なし									
予 算 額				財 源 内 訳				一般財源	前年との 対比
決定額	5,801							5,801	△1,450
前年額	7,251							7,251	